

令和2年度総合戦略事業評価シート(令和元年度事業)

【担当課: 商工観光課】

基本目標	2	「住みたい」・「訪れたい」と思う魅力を創る			当初予算	44,090,000 円				
施策の基本的方向	4	観光資源の磨き上げ			執行済額	43,971,931 円				
事業名	8	観光まちづくり推進事業			執行交付金	22,279,000 円				
事業概要	観光まちづくりに取り組む組織を設立し、地域の多様な資源を生かした観光プロモーション、地域の貴重な資源である古民家の観光資源としての活用、公共施設の指定管理の受託などを実施し、町全体の観光マネジメントを行い、地域経済や観光まちづくりの活性化を推進する。									
事業の取組み (経費内訳)	・観光総合戦略策定業務委託料 1,595,000円 ・観光まちづくり会社補助金 4,050,000円 ・古民家改修事業 27,000,000円 ・観光活性化基本計画策定業務委託料 2,673,000円 ・超小型モビリティ実証実験委託料 333,000円 ・観光物産センター改修工事 8,320,931円									
	重要業績評価指標			目標値	単位	H28	H29	H30	R1	R2
施策評価	①	観光入込客数の増	102.4万人	人		101.4万人	94.3万人	91.2万人		
			達成状況			→	↘	↘		
施策評価	②									
			達成状況							
事業効果	② 本事業は地方創生に相当程度効果があった。	① 本事業は地方創生に非常に効果的であった。	※ 指標が目標値を上回ったなどの場合							
		② 本事業は地方創生に相当程度効果があった。	※ 目標値を上回ることにはなかったものの目標値を相当程度(7割～8割)達成したなどの場合							
		③ 本事業は地方創生に効果があった。	※ 目標値を上回ることにはなかったものの事業開始前よりも改善した場合							
		④ 本事業は地方創生に対して効果がなかった。	※ 実績値が本事業開始前の数値よりも悪化しているなどの場合							
課題	観光分野における総合戦略、基本計画がないため、観光まちづくりの取組みが難しい。また実行できる組織づくりも課題である。									
事業実績・今後の予定	観光まちづくり会社大多喜DMCを設立し、ソフト事業として町の観光総合戦略(2年目)と県民の森周辺の観光活性化基本計画、城下町の再興による観光活性化基本計画を策定。ハード事業として、無料の町営駐車場の有料化整備、古民家や観光物産センターの改修工事を実施。									

■事業の評価

事業の評価	① 本事業が地方版総合戦略のKPI達成に有効であつた。	① 本事業が地方版総合戦略のKPI達成に有効であつた。
	② 本事業が地方版総合戦略のKPI達成に有効とは言えなかつた。	② 本事業が地方版総合戦略のKPI達成に有効とは言えなかつた。
	コメント: 観光総合戦略(1年目・2年目)、県民の森周辺の基本計画及び城下町の再興による観光活性化基本計画の策定に伴い、明確な方向性が位置付けられ今後の施策の展開につながつた。 また、大多喜DMCの設立に伴い、官民協働のまちづくりの機運が高まつた。	
	※1「有効であつた」⇒良かった点、評価する点等について記載してください。 ※2「有効とは言えなかつた」⇒良くなかつた点、何が原因であつたか等、改善策について記載してください。	

▼推進会議の評価を受けての今後の方針

今後の方針	③ 特に見直しをせず事業を継続する。	① 事業が効果的であつたことから取組みの追加等更に発展させる。 ② 事業内容の見直し(改善)を行う。(または、行つた。) ③ 特に見直しをせず事業を継続する。 ④ 継続的な事業実施を予定していたが中止した。 ⑤ 当初予定通り事業を終了した。
今後の方針の理由	観光まちづくりを推進するため、その他の個別計画の策定と組織の支援を進めていく。	